

東日本大災害により被害を受けられた被災者の皆様に対し、謹んで心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

地震に関するお知らせ

印刷3製品 オフセット枚葉機 商業用オフセット輪転機 新聞用オフセット輪転機

揺れの大きかった地域では、以下注意点を参考にご対応頂き、必要に応じて弊社サービス員による点検を受けて下さい。

地震発生時の注意点

●地震発生時は、ただちに停止ボタンにて機械を停止し、速やかに身の安全確保に努めて下さい。

UV乾燥装置付きの枚葉機においても、地震発生時は迷わず停止ボタンにて機械を停止して下さい。

当社機へ搭載しているUV照射器は全てシャッター装置が内蔵されており、ランプハウジング直下に紙がある場合でも発火の恐れはありません。(機械停止によりUVランプもシャッターが自動で閉じる)但し停電、もしくは主電源を切った場合はランプハウジングの強制冷却が行えず自然冷却となるためランプハウジングに付着したパウダー(UV-油性兼用機)油等が熱せられ発火する恐れがありますので、日常のメンテナンスとして清掃をお願い致します。

★地震発生後

運転開始前の注意点

印刷3製品共通 ●断線していないか？ケーブルを確認して下さい。→異常発見時は、運転はできません。弊社サービス員による点検を受けて下さい。

印刷3製品共通 ●機械固定部でライナーのスレ、固定プレートのスレ、固定ボルトの浮き等がないか？フレーム間の連結梁や取付部品のホルト緩みによるガタはないか？を確認して下さい。→異常発見時は、運転できません。弊社サービス員による点検を受けて下さい。



フレームがズれている

固定ボルトが浮いている

印刷3製品共通 ●機械内に、落下したものがないか？確認の上、手回しにて機械が回るか？どうか？を確認して下さい。→手回しが出来ない時は無理に回さずに弊社サービス員による点検を受けて下さい。仮に通電状態が維持できるケースであったとしてもモータによる回転確認は絶対にしてはいけません。

冠水した場合の注意点

印刷3製品共通 ●駆動部が冠水してしまった場合、乳化によるオイル性能低下だけではなく、水と一緒に泥等の異物も入ってしまいますので、オイルを抜き、清掃、フラッシング等の処置が必要です。→弊社サービス員による点検を受けるまで電源を入れないで下さい。手回しで機械を回転する事もしないで下さい。

印刷3製品共通 ●電気部品(制御盤等)が冠水してしまった場合、ショートがありますので絶対に電源は入れないで下さい。また、水と一緒に入ってしまった泥等の異物除去をしないとショートの危険は残ったままです。電源は入れられません。弊社サービス員による点検を受けて下さい。

電源復旧の注意点

- 印刷3製品共通 ●必ず工場側の一次電源を入れる前に機械側の二次電源は切っておいて下さい。(一次電源を入れ、二次電源を入れて下さい。) 電源復旧時に、二次電源を入れたままで一次電源を入れると突入サージにより電気品の故障に繋がる恐れがあります。
- 印刷3製品共通 ●電気品予備(基板類、定電圧電源装置、シーケンサ装置等)をお持ちのお客様は、予防保全の観点から、予備品が正常に動作する事を予め確認しておく事をお勧め致します。

運転時の注意点

- 印刷3製品共通 ●メインモータと本機とを繋ぐベルトに緩みがないか?確認して下さい。→異常発見時は、適正テンションにまで再調整が必要ですので、弊社サービス員による点検を受けて下さい。
- 印刷3製品共通 ●空転にて異音がないか?確認して下さい。まずは、低速で異音を確認し、徐々に回転を上げて下さい。→異音発生時には、運転を停止し弊社サービス員による点検を受けて下さい。
- 商業オフセット輪転機
新聞輪転機 ●紙が流れる、シワが入る等の異常がある場合は、機械の芯スレが考えられますので弊社サービス員による点検を受けて下さい。
- オフセット枚葉機 ●給紙パイルチェーンの噛み込みがないか?確認して下さい。パイル昇降はスムーズか?確認して下さい。→異常がある場合は、給紙フレームのスレが考えられますので弊社サービス員による点検を受けて下さい。

※ご不明な点がございましたら最寄の弊社サービスセンターまで問合せ願います。